公立幼稚園等の統廃合、約束は守られているか？！

6月議会

■附帯決議（約束）は進んでいるか？

伊丹市で議論になっている、公立幼稚園等の再編。1月臨時議会で方向付けをした際、議案に“附帯決議（賛成するがこれは実施すべしと注文を付けるモノ）”を付けて8項目を可決し、6月議会にてその進捗状況を問いました。

■附帯決議①：説明会の状況と今後の対応は？

附帯決議の1つ目は“（略）市長も含めた当局と保護者、地域住民等で十分協議すること”です。これを受けて5～6月に「就学前の再編にかかる説明会」が各所で開催されましたが、傍聴したところ未だ多くのご意見が。そこで、説明会で出た意見と今後の対応を問うたところ、通園負担の軽減や閉園時期は早急に、3歳児の定員設定や跡地の活用方法は重要課題と捉えて今後検討するとのことでした。

■附帯決議④：希望する3歳児はちゃんと入園できるのか？

附帯決議の4つ目は“3歳児の希望者全員が幼稚園に入園できること”です。ニーズ把握と全入への対策を問うたところ、今年度実施のニーズ調査を踏まえて、私立幼稚園と調整しながら定数調整などで全入を目指す、とのこと。

■附帯決議⑧：廃園の施行日はいつ？

附帯決議の8つ目は“施行日は関係者の意見を聞き、幼児教育・保育ニーズを的確に把握して決定すること（要約）”です。1月臨時議会では、廃園の施行日を決定しなかったのです。そこで施行日について、判断基準と決定時期を問うたところ、未就園児の保護者の意見を尊重して判断するとのこと。※その後、7月5日に施行日は決定されました。

“就学前の子どもが、希望する施設に入れるように、そして充実した教育と保育が受けられるように”。これが私の目指すところです。公立幼稚園等の再編は、概要が決定されました。これからは具体的なカタチを練り上げる段階です。引き続き当事者のお声を聞きながら、よいものを作り上げてまいります。手も気も抜きません。

「ローカルマニフェスト推進連盟」共同代表に

「ローカル・マニフェスト推進連盟」という会があります。マニフェストを推進する集まりで、全国の地方議員を中心に約850人が所属しています。私、7月にこの連盟の共同代表に就任しました。勉強会やサミットを開催したり、マニフェスト大賞の運営に携わったりします。責任重大ですが張り切っています。

7月11～12日は当連盟の主催で「全国地方議会サミット2018」を開催しました。“議会のチカラで日本創生”をテーマに、先進的な議会の実践などを学ぶ勉強会で、全国から1000人以上の地方議員が集合しました。マニフェストを生んだ北川正恭さん（元三重県知事）や片山善博さん（元鳥取県知事・元総務大臣）をはじめ、議会改革界のオールスターが勢ぞろいし、講演やディスカッション。盛りだくさんの内容&、豪華すぎる講師陣に、“アツい”サミットになりました。

共同代表（左から）
黒川（横浜市議）相崎（伊丹市議）
前泊（那覇市議）川上（可児市議）

政策で地域を主導し、議会の力で地域を盛り上げ、地方議会から日本を創生する、そんな未来を作りたいと思います。

第22回・23回「サワコの茶話会」

気軽な雰囲気で意見交換する「サワコの茶話会」。今回は南北2ヶ所で開催します。
ぜひお越しいただき、普段感じていることなとをお話しください。お会いできるのを心より楽しみにしています。

●日時：第22回 2018年9月2日（日）14:00～16:00 ラスタホール 学習室
　　第23回 2018年9月9日（日）14:00～16:00 きららホール 302
●内容：6月議会の報告・9月議会の相談など ●人数：20名程度
●申込：名前&連絡先を、メール・電話・ファックスなどで（連絡先は裏面）
※飛び込みも大歓迎ですが人数把握のために事前連絡いただけると幸いです